

「こんなつらい思いをするなら、いつそ町外で暮らすことにしたらよかった」、住民説明会で、町内で住宅の再建を選択された方の発言です。故郷に残り、生活を再建することの困難さ、大変さをお聞きし、胸が締め付けられる思いでした。こうしたつらい思いをされている町民に寄り添うことができようか、何ができるだろうか。改めて自問自答し続ける日々です。

現在町では、復興計画策定に向けて様々な活動を行っております。7月には住民アンケートを行い、ご回答いただいたアンケートの取りまとめ作業を行っています。速報値ですが、55パーセントを超える回収率となり、過去にない非常に高い数値となっております。町民の方々の復興への強い意欲を感じています。

また、7月から8月にかけて町内を6地区に分けて住民説明会を開催し、全体で300名弱の方にご参加をいただきました。こちらにも、例年行っている町政懇談会より多くの方にご参加いただき、様々なご意見をいただきました。

そして、復興未来づくり会議をこれまでに2回開催し、復興のためのアイデア出しを中心にグループワークを行っており、参加者からは多岐にわたりユニークなアイデアをいただいております。引き続き6、7回までの開催を予定しており、アイデアの実現に向けての話し合いを行ってまいります。

復興計画策定は12月を目処にしております。町民の皆さんの町に対する思い、復興にかける意欲、町の明るい未来への希望を形にできるように頑張っていきます。